



**ウェイクボード
 ワールドカップを
 楽しく観たよ!**

**WVA ウェイクボード
 世界選手権大会 2018**



**ウェイクボード世界選手権大会開催
 豪快なジャンプ 華麗な技に大きな歓声**

アジア初となるウェイクボードの世界選手権大会が、8月30日から9月2日までの4日間わたって開催されました。

ウェイクボードとは、板に乗った選手がモーターボートに引かれて水面を滑走し、ボートが作り出す引き波を使ってジャンプするなど、技の難易度や完成度を競うウォータースポーツです。

今回のWVAウェイクボード世界選手権2018はプロとアマチュアの世界一を決める最も権威ある大会で、第30回の節目となる今大会には世界34か国からプロとアマチュア147人が出場しました。さらに今大会はプロ選手が世界7か国を転戦するワールドシリーズ2018の最終戦も兼ねるため、世界トップクラスの選手が白熱した戦いを繰り広げました。

三好市は昨年開催したラフティング世界選手権に続き、2年連続での吉野川を舞台にした世界選手権の開催となり、昨年の経験を活かしながら海外選手を受け入れることができました。海外から訪れた選手たちは池田ダム湖

の水質や周辺の景観に加え、入体制や地元住民のおもてなしなどに大変満足な様子でした。

大会4日間、会場内に設けられたステージでは、テレビ等でおなじみの芸能人や地元出演者のステージ、阿波踊りなどが毎日行われ大会を盛り上げました。大会2日目にはオープニングセレモニー終了後に池田ダム湖に花火があげられたほか、大会3日目には阿波池田駅周辺で、JCわくわくフェスタ、四国酒まつり、うだつマルシェなど各種関連行事も行われ、大いに賑わいました。

大会期間が台風シーズンでもあり8月中にも相次いで台風が接近したことから、大会関係者は常に天候を心配する日々でしたが、大会期間中は概ね天候に恵まれ、会場には地元の小学生や国内外から多くの観戦者が詰め掛け、大きな声援を送りました。また昨年結成し、練習を重ねてきた地元の小中学生チームのイケダコイレブンも健闘し、2人の選手が3位入賞を果たしました。大会の内容は、来月号で詳しくご紹介する予定です。



雨打てど笑顔はじける三好の夏

軽やかな鉦鼓と腹の底まで響く太鼓にあわせて、揃いの衣装を着た踊り手が舞い踊る。池田の夜に独特の高揚感が高まる中、待ちわびた真夏の祭典が今年も盛大に行われました。叩きつける雨もおかまいなしとばかりに繰り広げられた真夏の乱舞絵巻を写真とともに振り返ります。

阿波おどり 2018

平成最後の夏を彩るいけだ阿波おどりが、8月13日の前夜祭を皮切りに、8月14日から16日までの3日間、JR阿波池田駅周辺の各演舞場で盛大に開催されました。期間中、強い雨に見舞われる場面もありましたが、市内外から集まった天水たちは「仕掛けた踊りはやめられない」とばかりに、はつらつとした踊りを繰り広げ、棧敷席や浴道を埋めた市内外の観客を魅了しました。

13日に池田総合体育館で行われた前夜祭では、三好市観光大使の北山たけしさんのコンサートをはじめ、阿波池田観光連（吉野連・さつき連・えびす連・とうりやんせ）がライトアップされたステージに次々に登場しました。通りを流す

棧敷の踊りとはひと味違った舞台踊りの演出には各連の工夫と個性が盛り込まれ、勇壮な男踊りは提灯を振りながら舞台を縦横無尽に跳ねまわり、しなやかに両手を高く上げた女踊りは系乱れぬ優美な群舞を披露し、客席から大きな拍手がわき起こっていました。

踊り本番には、市内外から集まった36連が繰り出し、乱舞を繰り広げた他、多彩なゲストが各演舞場を盛り上げました。14日には北山たけしさんが躍動感溢れる踊りを披露したほか、15日には香港お笑いタレントのムコアンジーが、最終日には、よしもと住みます芸人やyou with herri & スタジオFUN、さらには浄瑠璃人形遣いの勘緑さんがへそ子公園ステージに花を添えました。

栄町演舞場では、2日目のスタートと同時に阿波池田観光連4連が総踊りを行い、最終日には西部阿波踊り観光連4連が大通りで総踊りを披露しました。運悪くいざれも強い雨に打たれた総踊りとなりましたが、踊り手たちは笑顔はじけるエネルギー溢る乱舞を繰り広げ、観客たちは完成された観光連の乱舞の波に酔いしれました。お盆の期間中は、昼夜を問わず、市内のあちこちで鉦や太鼓、笛などぞめきのリズムが鳴り響き、市内は阿波踊り一色に染まりました。

